

岐阜県議会議員岐阜市選挙区補欠選挙選挙公報

岐阜県選挙管理委員会

この公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷して作成したものです。

市民のくらしを守る県政

大型開発中心の岐阜県政、
それを支えるオール与党議会に異議あり
唯一の野党の議席を増やしてください

- 県の借金は約1兆7476億円（県民1人当たり約87億円）となっています。
その原因は
・国の道路事業である東海環状自動車建設の負担金（毎年100億円の借金）、巨大な新県庁舎など多額の借金に依存している大型公共事業にメスを入れる提案は日本共産党のみです。
- 多額の借金のシフ寄せが市民の福祉、教育、暮らしに向けられ県民サービスが削減され、県民負担が増やされています。その一例が
・高校生のタブレット（教材）が貸与を打ち切り、各自負担となっています。

暮らしと福祉を良くするための提案
自治体本来の仕事をすすめるべきです

- 子育て、教育への支援
・高校入学時のタブレット自費購入を撤回し、貸与を継続。
・教員の未配置、免許外教科担任の解消。
・市町村の子どもの医療費助成を支援し、子育て支援の充実。
- ジェンダー平等
・性差によるハラスメントをなくす。
- 排外主義に反対
・ヘイトスピーチをはじめあらゆる差別を許さない姿勢を、県として明確にする。
- 物価高騰対策、生活支援
・水道料金引き下げのため市町村を支援。・高い国民健康保険の引き下げ。
・賃上げを行う中小企業、小規模事業者を直接支援。
- 福祉、社会保障
・病院のベッド削減に反対。地域医療機関を守る支援。
・加齢性難聴者への補聴器購入支援制度の導入。
- 公共交通政策
・路線バスの料金引き下げのための支援。

プロフィール

- 1982年生まれ 大垣市在住 ■ 大垣工業高校卒業
- 元 民青同盟岐阜県委員長 ■ 現在、党准県委員



日本共産党

はたの純子

43歳

岐阜に若い新しい風を

若い力で岐阜県を『創る』『育てる』『守る』

新しい発想で
選ばれる岐阜を

創る

- 中小企業のDX化の支援強化
- LRT（次世代型路面電車システム）導入構想の検討
- 魅力的な観光資源を活かし観光客を呼び込む



未来への投資で
子供と若者を

育てる

- 平日に学校を休み家族と学ぶ「ラーケーション制度」の導入推進
- 子どもたちの選択肢を広げる「県立高校併願制」の導入推進
- 子どもの医療費、給食費、教材費等の負担軽減を推進



温かいまなざしで
県民の暮らしを

守る

- 悩みを声に出せなくても相談しやすい、24時間対応のSNS相談窓口を拡充
- 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、在宅医療・介護の連携体制を強化
- 南海トラフ地震などの大規模災害に備え、避難所の機能強化



プロフィール
(略歴)

1994年12月20日生まれ 30歳（岐阜市在住）
2010年3月 輪之内町立輪之内中学校卒業
2013年3月 岐阜県立大垣東高等学校卒業
2018年3月 岐阜大学応用生物科学部卒業
2022年4月～ 株式会社サンコール

H.P.

Instagram

X



国民民主党
公認

辻井としき

30歳

<岐阜の地で維新改革>

「納税者目線」「民間目線」の政治改革、行政改革

- 議員・議会改革、政治改革、身を切る改革
- 議員定数の削減、議員報酬の削減
- 議員を「先生」という呼び方をしない（大阪府議会でも決議）
- 議員報酬の中から被災地等に直接寄付をします（維新の議員が実行）
- しがらみのない政治

○岐阜県の行財政改革

- 納税者目線、民間目線による行財政改革
- 県、市町村の役割分担明確化
- 市町村間の行政連携による高度で効率的な行政の推進
- ITの活用による行政コスト削減とサービス向上、情報公開推進
- 近隣他県との連携で効率的な行政の推進
- 行政の原資は税金です、無駄使いを無くし税金を住民の安心安全に使います

「生活を守り、皆さんお一人お一人が自己
実現できる社会を目指します」

○食料品消費税0%に

- 教育費・給食費の無償化
- 子どもの学校外教育への支援（学習、スポーツなど）
- 岐阜県への企業誘致で、経済活性化推進

○安心できる福祉の実現

- 福祉何でも相談窓口の設置
- 障がいのある方、認知症の方など当事者の声
ご家族の声を直接お聞きし施策に生かす

○働く人の健康を守る過労死対策

- 雇用者は1週間に1日は休養日を設ける
- 勤務間インターバル（終業～始業）時間確保

プロフィール

加納中学校卒業、加納高等学校卒業
立命館大学理工学部卒業、仏教大学通信教育課程社会福祉学科卒業
川重車体工業、川重岐阜サービス部長職で退職、元地域包括支援センター職員
社会福祉法人職員（現在）、社会福祉士



日本維新の会

関谷まさひこ

68歳

いま必要なのは
岐阜の

わ

さまざまなものを繋ぐを和田直也がつくる。

だ！

基本姿勢の「わ」は 対話の「わ」＝話ができる政治

多様な意見を聴き、対話し、時には議論しつつも相手には常に礼を尽くし、最後はモノゴトを前に進める知恵を大切にします。常に県民、市民を主眼に置く。政策調整の先頭に立ちます！

私
がつくる
まち

市民参加の推進で
県政の対話を創造

例えば…市民参加型の県・市政報告会を定期開催、LRTや旧県庁舎活用等、岐阜市の県政課題を丁寧に議論、調整役に致します。

輪
でつくる
地域

多様性への寛容な
姿勢と先人の敬意

例えば…岐阜を愛する全ての人が心地よく、まちづくりのプレーヤーになれる寛容姿勢と先人への敬意を大切にしたい輪を大きくします。

若
とつくる
ひと

関係人口の拡大と
若者・高齢者支援

例えば…県外に岐阜県ファンを増やす取組みを推進することで、岐阜県の課題解決や活性化に貢献する新たな経済を創造します。

和
から創る
行財政

事前の一策！経済
のない行政は寝言

例えば…古田藩邸の「創造的破壊」岐阜の和の心に学び、次代を創造するための課題解決策（条例、予算、政策立案）に果敢に挑戦します。

環
をつくる
しごと

東海環状道+国道
整備と物流+港湾

例えば…名古屋港アクセスを意識した新たなヒト・モノ・情報の循環を強化し経済を創造、各所が連携して稼ぐ仕組みを構築します。

本人
から創る
YouTube

あらゆるテーマ1つ取り上げ
毎月開催している「みんなの
知恵を集めるカフェ」を県・
市政報告会として
ブラッシュアップ、
チャンネル登録を
お待ちしております！

和田直也 -----< 略歴 >-----
1980（S55）岐阜市生まれ、岐阜幼稚園、木之本小（現 徹明さくら小）
本荘中、県立岐阜商業高校 国際コミュニケーション科 卒業
2006（H18）立命館大学大学院 法学研究科 前期博士課程 修了（法学修士）
梶原 拓 元岐阜県知事 秘書、会社員
2007（H19）岐阜市議会議員 初当選（以後 連続5期）
2025（R07）岐阜市議会議員



和田直也

検索



自民党公認
和田

NAOYA WADA

直也

岐阜県議会議員 岐阜市選挙区補欠選挙

投票日 **9月21日(日)**

投票時間 午前 **7** 時から午後 **8** 時まで

期日前投票 **9月20日(土)まで**

仕事や旅行などの理由で、投票日に投票所に行けない見込みの方は、期日前投票ができます。
場所や時間など、詳しくは、岐阜市選挙管理委員会へおたずねください。

18歳からの選挙

岐阜県選挙管理委員会ホームページ

岐阜県 選管

検索

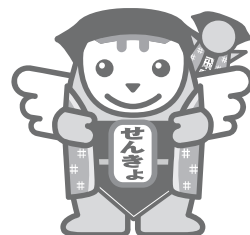
特設サイトはこちら



岐阜県の明るい選挙推進イメージキャラクター

鵜飼めいすいくん

岐阜県選挙管理委員会



岐阜県の明るい選挙推進イメージキャラクター

さるぼぼめいすいくん